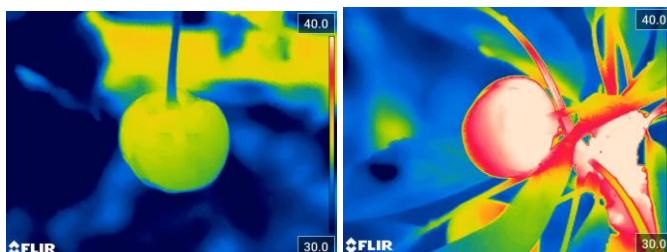


◆ 主な研究課題・事業 ◆

課題1 温暖化に対応した新たなさくらんぼ栽培方法の確立

近年の温暖化に対応し、さくらんぼの安定生産を図るため、気象条件と結実や果実肥大、果実成熟との関係を明らかにするとともに、春季から収穫期、夏季における高温に対応した栽培技術を開発します。



新型開閉式ハウス

慣行ハウス

サーモグラフィカメラによる果実陽光面画像

課題2 さくらんぼ新品種「山形C12号」(やまがた紅王)の高品質安定生産技術の確立

さくらんぼ新品種「山形C12号」(やまがた紅王)の高品質安定生産に向け、着果管理技術、着色管理技術、肥培管理技術の確立を目指します。さらに、新樹形への適応性調査を行っています。



「山形C12号」(やまがた紅王)の新樹形

課題3 さくらんぼ新品種「山形C12号」(やまがた紅王)の貯蔵技術の開発

さくらんぼ新品種「山形C12号」(やまがた紅王)のブランド力を強化するため、「紅秀峰」の出荷終了後に販売可能な短期貯蔵技術及び花笠祭り(8月上旬)に販売可能な長期貯蔵技術を開発します。

課題4 生産性・安全性を向上させた新たなりんごわい化栽培技術の開発

わい性台木を利用した新しいりんご樹形を開発するとともに、除草や灌水等の管理の自動化・機械化を組み合わせることで、労働生産性・安全性の高い新たなりんごわい化栽培技術を確立します。



りんごの新型わい化栽培の検討

課題 5 効率的な生産を可能にする西洋なし 新樹形の栽培技術の開発

新樹形（Y字、V字）の成園期に、安定的・省力的に収量を確保するため、結果枝の管理技術等を開発します。また、効率的な栽培法である「ジョイント栽培」の西洋なしへの適用を検討します。



西洋なしのV字仕立て

課題 6 異常高温に対応したぶどうの着色向上技術の開発

近年の高温等による、ぶどう赤系・黒系品種の着色不良を改善するため、光環境改善、果房温度の低下、着色を向上する植調剤の導入を検討し、生産者が取り組みやすい管理技術を構築します。



LED 補光によるぶどうの着色促進